

# 誓

おん  
セイ  
ちかう

一	ナ
ナ	オ
オ	オ
オ	折
折	誓

はねる

なりたち

二つに折る意味の  
折と言との会意形声字。割り  
符(中央に文字などを書いて  
二つに割つた木札で、あとで  
両方を合わせて証拠とするも  
の)を二分して取り交わし、  
互いに約束を守ることを“ち  
かう”意味の字。“固い約束・  
ちかい”。



誓文：誓いの文書。  
誓紙：誓いの言葉を書いた紙。  
誓言：誓いの言葉。また、そ  
れを書いたもの。  
誓約：固い約束。  
誓約書：誓いの言葉を書いた紙。

いみとじゆく

# 誓

ほん  
ヨ

ハ	ナ
ナ	ニ
ニ	六
六	誉
誉	譽

はらう
-----

なりたち

の旧字体である與(よ)と言と  
の会意形声字。與は四つの手  
の象形的與と与との形声字で、  
大勢が協力して物を持ち上げ  
る意味。譽は人の美点をもち  
上げて言う“ほめ言葉”。転じ  
て、“ほまれ(よい評判)”。

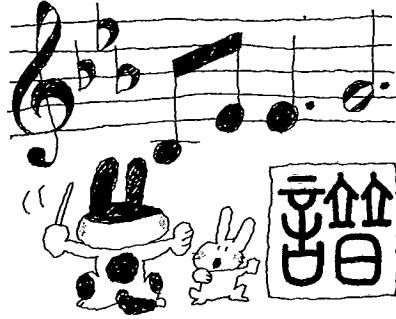


トヨ  
トヨ

▼ほまれ。ほめられる事。  
名譽：①世間から受ける高い  
評価。②功績に対する贈ら  
れた呼び名。例：名譽市民  
よみかた 声譽  
いみとじゆく

# 誓

ほん  
ヨ



音譜：ある曲を音楽の符号で  
書き表したもの。  
暗譜：楽譜を符号で書き表したこと。  
よみかた 虫図譜  
家譜：楽譜代・譜面・印譜。

の。

19画	三	口
	二	言
	言	口
	口	誓
	誓	譜
	譜	譜

いみとじゆく  
▼物事の系統や順序をたどつ  
て書いた表。  
系譜：先祖からの血縁関係を  
及ぼしたものとの関係につい  
て、たとえていうことがあ  
る。用例：近代文学の系譜。  
年譜：ある人の経歴や、ある  
年譜：同じ種類の動物や植物  
の図を数多く集め、分類し  
て説明を加えたもの。例：昆  
虫図譜  
家譜：楽譜代・譜面・印譜。

なりたち

日光の普(ねま)くゆ  
きわたる意味の普と言との会  
意形声字。普く人に分かるよ  
うに、物事の系統や順序をた  
どつて書きしるした言葉の表”  
のこと。また、系図のこと。

6	年
---	---

いみとじゆく  
▼書きしるしたものの  
雑誌：色々な記事を集め、定期  
的に発行する出版物。例：学級  
雑誌  
地誌：ある地方の地理を書き  
しるしたもの。  
墓誌：死者の姓名や事績を石  
などに刻みつけたもの。

なりたち

意志の志と言との  
会意形声字。“自分の意志をい  
う”という意味の字で、自分の  
考え方を“書きしるす”ことを表  
した。書きしるした書物のこ  
と。

14画	ニ
	三
	言
	言
	ニ
	志
	志
	誌
	誌

いみとじゆく  
▼書きしるしたものの  
日誌：毎日の出来事や行動を  
書きしるしたもの。  
地誌：ある地方の地理を書き  
しるしたもの。  
墓誌：死者の姓名や事績を石  
などに刻みつけたもの。

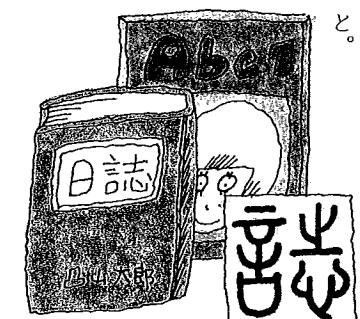
なりたち

意志の志と言との  
会意形声字。“自分の意志をい  
う”という意味の字で、自分の  
考え方を“書きしるす”ことを表  
した。書きしるした書物のこ  
と。

14画	ニ
	三
	言
	言
	ニ
	志
	志
	誌
	誌

いみとじゆく  
▼「雑誌」の略。  
週刊誌：一週間に一度発刊さ  
れる雑誌。  
機関誌：ある機関(組織)が發  
行している雑誌。  
誌面：雑誌の記事を載せる面。

譜誌



いみとじゆく  
▼書きしるしたものの  
日誌：毎日の出来事や行動を  
書きしるしたもの。  
地誌：ある地方の地理を書き  
しるしたもの。  
墓誌：死者の姓名や事績を石  
などに刻みつけたもの。

14画	ニ
	三
	言
	言
	ニ
	志
	志
	誌
	誌

いみとじゆく  
▼書きしるしたものの  
日誌：毎日の出来事や行動を  
書きしるしたもの。  
地誌：ある地方の地理を書き  
しるるもの。  
墓誌：死者の姓名や事績を石  
などに刻みつけたもの。

14画	ニ
	三
	言
	言
	ニ
	志
	志
	誌
	誌